

平成 29 年 10 月 3 日

## 第 13 回東京都病院学会 一般演題抄録作成要領

一般演題発表者の方は下記要領にて抄録原稿の作成・提出をお願いいたします。

演題名： 30 文字以内とする。

抄録： 抄録本文は 700 字以内とする（別紙【作成見本】で 696 字）。

所属・名前・共同演者名は 80 文字以内とする。

※ 抄録は別紙の記載例を参考に、【はじめに】【方法】【結果】【考察・まとめ】等に分け、発表内容がわかるよう記述して下さい。

提出方法： メールでのご提出をお願いします。

※ 原稿は Word で作成、発表者の「病院名・氏名」をファイル名として下さい。

※ 共同演者がいる場合、代表発表者氏名に「○」を付けて下さい。

提出期限： 平成 29 年 11 月 30 日（木）必着

提出先： [gaktmha@xqb.biglobe.ne.jp](mailto:gaktmha@xqb.biglobe.ne.jp)（学会専用アドレス）

（参考）演題発表者の方には、2 月中旬を目途にパワーポイントのご提供をお願いいたしますので、お含みおき下さい。提出方法は抄録同様、学会専用アドレス宛てにメールでお願いします。

連絡先：東京都病院学会事務局

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 2-5

東京都医師会館 404 号室

TEL：03-5217-0896

FAX：03-5217-0898

E-mail: [gaktmha@xqb.biglobe.ne.jp](mailto:gaktmha@xqb.biglobe.ne.jp)

## 【抄録作成見本】

ICT ラウンドによる感染対策意識の向上 ←左寄せ

○東 太郎、西山花子、南野次郎 ←左寄せ

↑発表者氏名の頭に○をつける

右寄せ→ ○○病院

(ご所属の掲載は、原則として病院名のみです。  
法人名・部署名は記載する必要はありません。)

【はじめに】 当院では感染対策の一環として ICT ラウンドを実施しているが、職種の違い、職員の経験年数の違い、個人の意識の差等で必ずしも全体のレベル向上に至らなかった。今回、ラウンドのフィードバック方法を見直したので報告する。

【方法】 ICT ラウンドの際に、改善が必要な場所を写真に撮り、感染対策委員会および ICT で改善方法や期限などを検討し、各部署に提案した。特に課題箇所を写真で見せることは効果が大きかった。改善方法の提案については、各部署の業務フローとの兼ね合いもあるため、一方的に押し付けるのではなく、当該部署と相談しながら決めていった。また、運用で改善できることと、施設の改修・物品の更新が必要な改善策を分けて、それぞれに目標時間を設定した。

【結果】 改善後に実際に改善された箇所を写真に撮って、ICC および ICT でコメントを付け、「改善前」「改善後」の状況を院内全体で共有するようにした。

【考察・まとめ】 今回の取り組みを振り返ると、「改善すること」以上に、「どうすれば改善に結びつくか」という『改善方法の開発』であった。これには以下の効果があった。1) 改善提案に際して、当該部署と相談しながら進めることで、単に指摘する側・される側という関係を脱し、当事者意識を持ってもらえた。また、結果を公開することで、部署間の競争意識が生じ、意識改革にもつながった。2) 小さなこと、すぐできることから取り組むことで、一種の「成功体験」となり、それが継続的かつ自発的な改善につながった。一人一人が当事者意識を持つようになったことで、他者の視点の重要性も認識できるようになった。今後、他院とのピアレビューも検討したいと考えている。

### 抄録作成時の留意事項

- 書式設定（段組み・原稿用紙設定等）はしないで下さい。
- タイトル・本文のフォントは指定する必要はありません。
- 字数制限（**タイトル 30 字、演者所属・氏名 80 字、本文 700 字以内**）の遵守をお願いします。